

東京湾海況情報 18-11

東京湾水質調査結果（平成19年2月分）

平成19年2月9日
 千葉県水産総合研究センター
 東京湾漁業研究所
 〒293-0042 富津市小久保3091
 TEL 0439-65-3071 FAX 0439-65-3072
 E-mail futtsu-gk@mz.pref.chiba.lg.jp

東京湾水質調査結果(平成19年2月分)

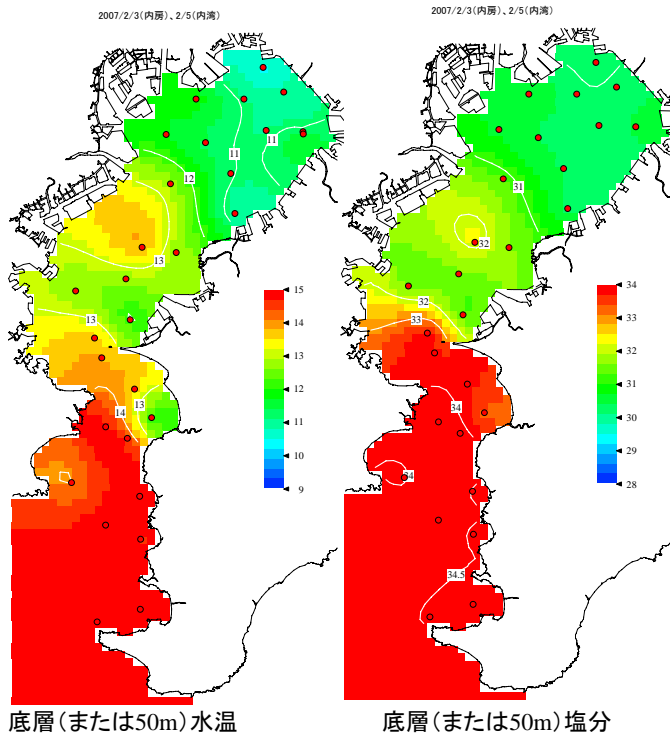
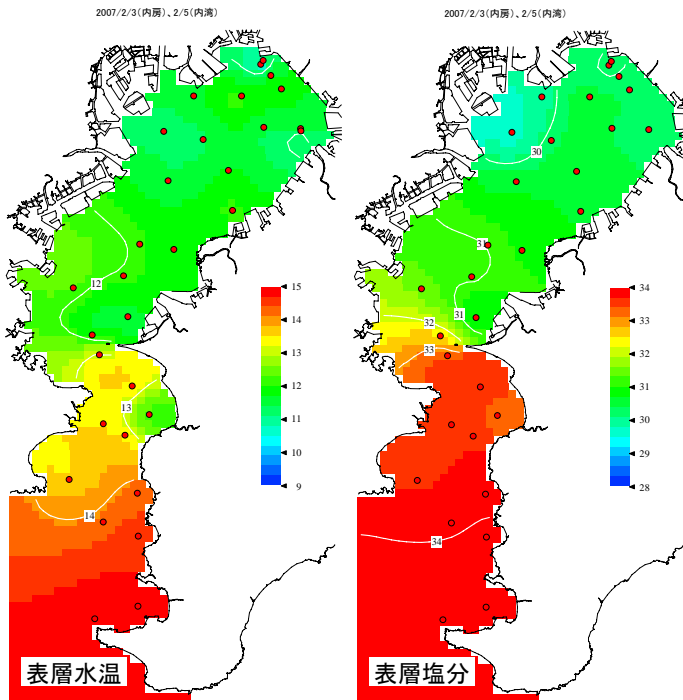


図1 東京湾の水温・塩分分布

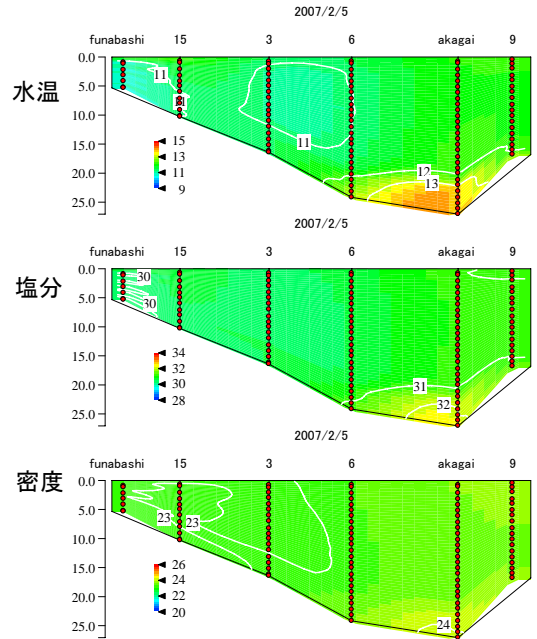


図2 内湾の鉛直分布

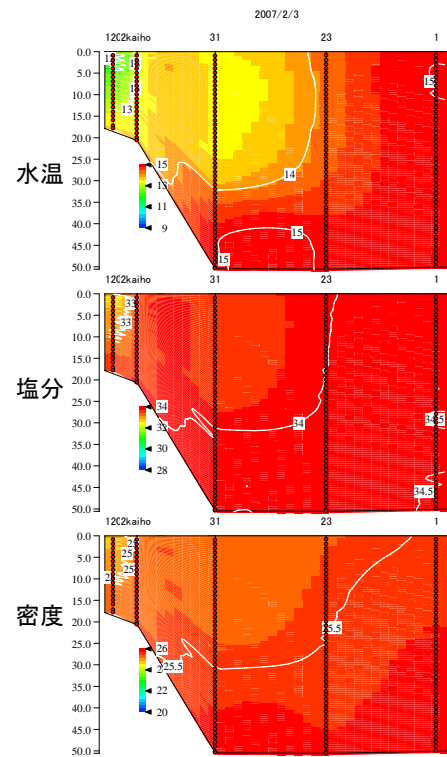


図3 内房の鉛直分布

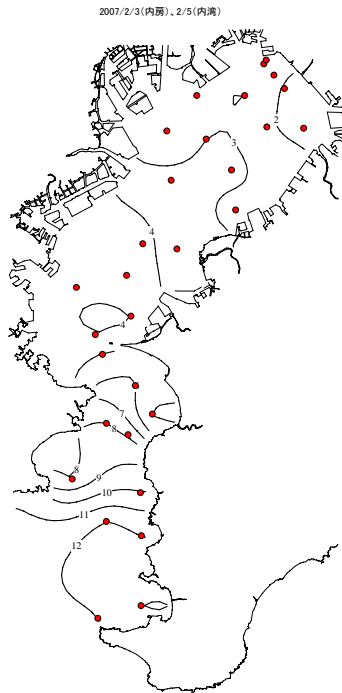
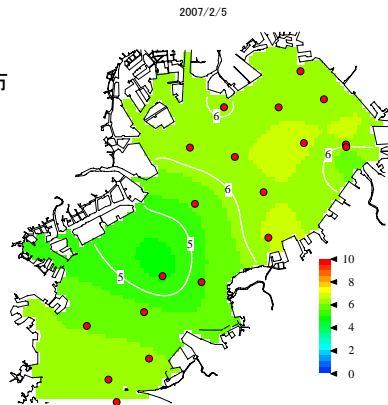


図4 透明度の分布 (単位: m)

底層の
DO分布



鉛直分布

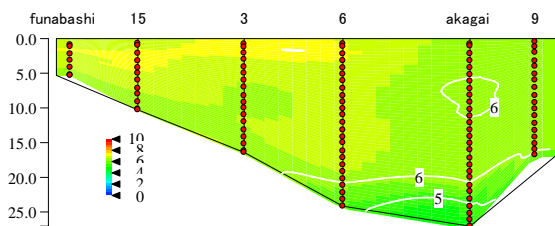
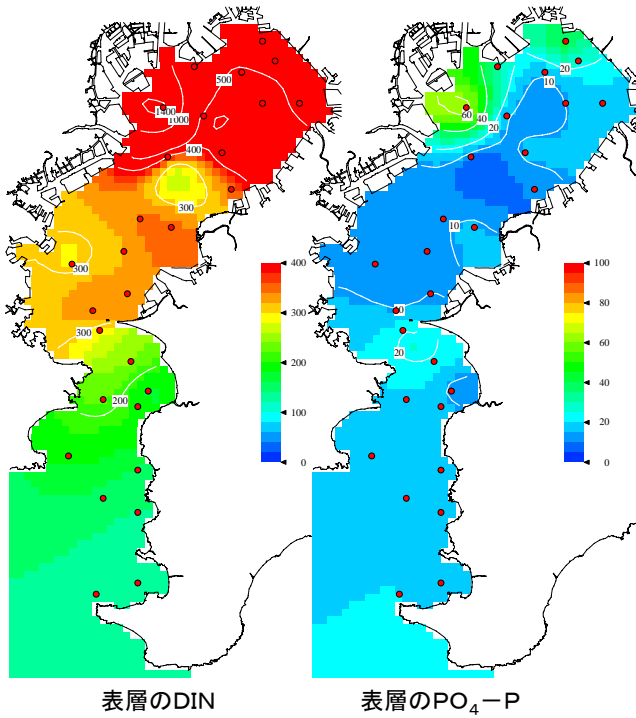


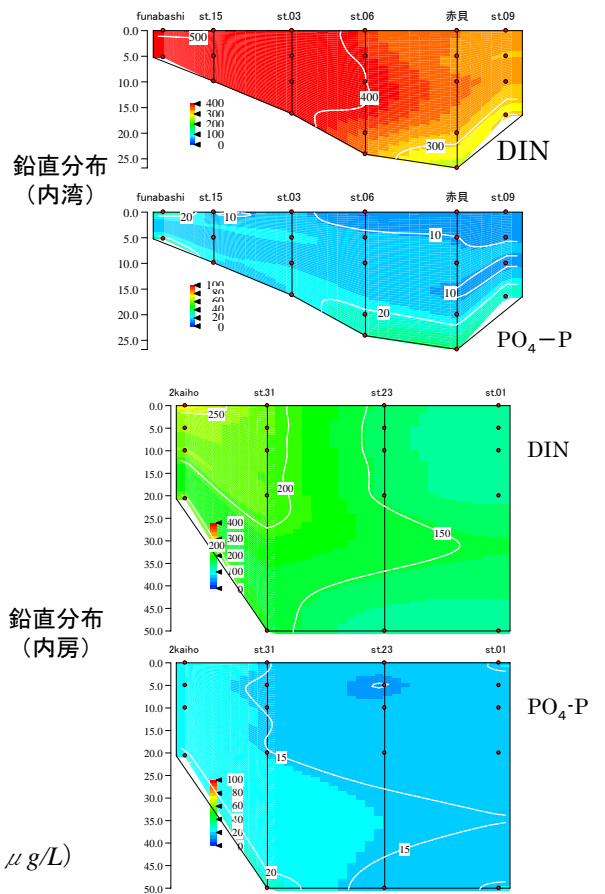
図5 内湾のDO分布 (単位: ml/L)



表層のDIN

表層のPO₄-P

図6 栄養塩の分布 (単位: $\mu g/L$)



鉛直分布
(内湾)

鉛直分布
(内房)

DIN

PO₄-P

DIN

PO₄-P

水温・塩分(図1~3、表1)

表層の水温は、内湾は10~12℃、内房は11~15℃でした。平年と比べると、竹岡~観音崎以北の海域は1~3℃高めでした。表層の塩分は、内湾は29~32(平年よりおよそ1低め)、内房は32~35(ほぼ平年並み)でした。

南北縦断ラインでの水温と塩分の鉛直分布は、内湾は水温10~14℃、塩分は30~32でした。内房は、水温は12~16℃、塩分は33~34.5でした。

赤潮の状況(図4、表1)

顕著な赤潮の発生は見られませんでした。

出現したプランクトンで比較的多く見られたのは、珪藻のレプトキリンドロス(*Leptocylindrus danicus*)とスケレトネマ(*Skeletonema costatum*)でした。

透明度は、内湾は2~5m、内房は4~13mでした。表層のクロロフィルaは、内湾は10μg/L以下、内房は5μg/L以下でした。

千葉県赤潮の目安(内湾海域)は

「海色:オリーブ色~褐色, 溶存酸素の飽和度:150%以上, 透明度:1.5m以下,

pH:8.5以上, クロロフィルa量:50μg/L以上」としています。

栄養塩類(図6、表1)

表層の溶存無機態窒素(DIN)は、内湾は300~1400μg/L、内房は100~300μg/Lであり、竹岡~観音崎以北の海域は平年より50~150μg/L少なめでした。表層のリン酸態リン(PO₄-P)は、内湾は5~50μg/L(平年よりやや低め)、内房は10~60μg/L(ほぼ平年並み)でした。

のり漁場付近ではPO₄-Pが10μg/L程度に減少していました。今後、のり漁場でのリン不足に対して注意が必要です。

貧酸素水塊の状況(図5、表1)

貧酸素水塊の発生は見られませんでした。

なお、水産総合研究センターでは溶存酸素量2.5ml/L(飽和度50%)以下を貧酸素水としています。

黒潮の動き(図7)

2月5日の一都三県漁海況速報によると、黒潮は伊豆諸島付近で北上していました。黒潮の北上に伴い、沖合いの水塊が東京湾内に侵入する可能性も考えられます。流れや水温の変化に注意して下さい。

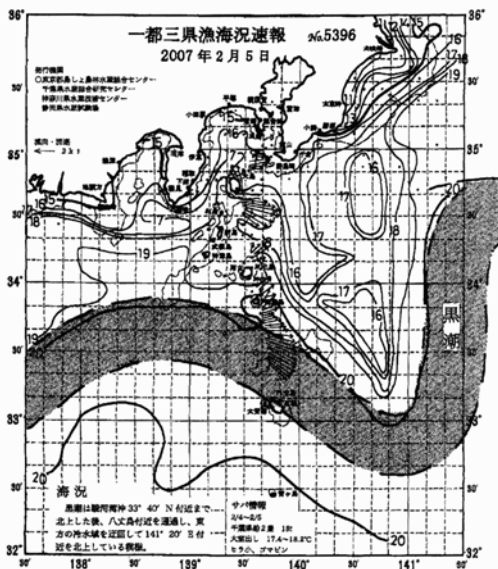


図7 黒潮の動き

表1 主な調査点の水質調査結果(表層)
調査年月日:平成19年2月3日(内房)、2月5日(内湾)

調査点	透明度	水温	塩分	pH	底層のDO (ml/L)	溶存無機態窒素 (μg/L)	リン酸態リン (μg/L)	クロロフィルa量 (μg/L)
船橋	2.0 (2.5)	10.6 (8.7)	29.91 (31.25)	8.3 (8.4)	6.1 (7.6)	590 (581)	38 (21)	8.4
st. 15	3.0 (3.1)	11.9 (9.3)	30.34 (31.64)	8.4 (8.4)	6.2 (6.2)	480 (533)	11 (12)	4.7
st. 3	3.0 (3.8)	11.2 (9.3)	30.13 (31.34)	8.4 (8.4)	6.3 (6.1)	472 (601)	12 (15)	5.6
st. 6	3.3 (4.0)	11.3 (9.3)	30.37 (31.60)	8.4 (8.3)	5.3 (5.5)	367 (535)	5 (13)	8.3
st. 9	4.3 (4.7)	11.9 (9.6)	31.02 (31.93)	8.3 (8.3)	5.5 (6.3)	317 (485)	8 (15)	4.7
盤洲Cブイ	2.7 (4.1)	11.9 (10.7)	30.47 (31.77)	8.4 (8.3)	6.4 (6.0)	348 (501)	6 (15)	6.9
st. 8 (盤洲Aブイ)	3.6 (4.0)	11.6 (9.7)	30.82 (31.91)	8.3 (8.3)	5.3 (5.4)	350 (486)	11 (14)	4.8
富津ベタ	4.0 (4.7)	11.4 (9.6)	30.58 (31.91)	8.3 (8.3)	5.9 (5.9)	326 (417)	10 (19)	3.2
第2海ほ下	5.0 (7.9)	13.1 (11.0)	33.35 (32.97)	8.2 (8.2)		281 (345)	20 (15)	2.7
st. 31	8.0 (9.4)	13.4 (11.9)	33.50 (33.31)	8.3 (8.2)		211 (272)	15 (13)	4.6
st. 23	12.0 (18.9)	14.2 (14.9)	33.92 (34.48)	8.3 (8.2)		139 (126)	11 (13)	1.8
st. 1	12.0 (20.4)	15.0 (15.4)	34.39 (34.61)	8.2 (8.0)		117 (109)	16 (15)	1.6
st. 10 (下洲沖)	6.0 (9.2)	13.3 (12.3)	33.67 (33.52)	8.2 (8.2)		229 (271)	19 (14)	
st. 12 (浅沖)	5.0 (8.3)	12.0 (12.1)	33.21 (33.63)	8.3 (8.2)		166 (225)	8 (12)	
st. 22 (保田沖)	10.0 (17.1)	14.3 (14.5)	33.94 (34.39)	8.2 (8.2)		145 (135)	13 (13)	
st. 24 (富浦沖)	12.0 (18.1)	14.6 (15.2)	34.11 (34.54)	8.2 (8.2)		125 (115)	13 (14)	
st. 26 (館山湾内)	13.0 (18.9)	14.9 (15.3)	34.32 (34.58)	8.2 (8.2)		108 (109)	13 (14)	

() : 過去10年間の平均値(ただし富津ベタは過去6年分)
※透明度とクロロフィルaの網掛けは赤潮、DOの網掛けは貧酸素水の基準に達していることを示しています。

資料: 東京湾水質調査(2/5:内湾(わかふさ), 2/3:内房(ふさみ丸))
海上保安庁海洋情報部(千葉灯標モニタリングポスト)
一都三県漁海況速報, 東京湾口海況図